

## 家計相談 Q&A (第 4 回) 「無理な住宅ローンで大変」

ばんだいこうじ

**Q:** 住まいはマンションです。住宅ローンの負担が重く、子供 2 人の学資保険にも入れません。パートをしても貯蓄が増えず、加入して 16 年になる生命保険の解約返戻金を教育資金に回したいと思っています。

**A:** 住宅ローンを持つ 30 代の家庭の平均的な支出は、食費 5~6 万円、光熱費 2 万円、夫の小遣い 2~3 万円です※1。ちなみに住宅ローンがあるからと言って支出が減る訳では無いのが実態です。家計見直しの第一歩は、まずどこの家庭にも必ずある使途不明金を確定し予算化・減額直します。



今回は、更に食費を 7 万から 5 万 5 千円へ、光熱費を 2 万 5 千円から 1 万 8 千円へ、ご主人の小遣いを 4 万 5 千円から 3 万円に抑えて支出を 3 万 7 千円ほど減らし黒字化を目指します。山陰の場合、車は手放せないのでガソリン代の節約などで月 1 万円程度の改善を目指します (或いは軽への買い替え)。これで月 5 万円程度のゆとりが出来ますので、その分を貯蓄や教育費積立、住宅ローンの繰り上げ返済に回せばご相談の点は解決できるはずです。

カナさんはパートとして働いているし子供も小さいので死亡保障 1,000 万円が多すぎる印象はありません。保険は万が一に備えることが目的ですから、解約は最終の手段と考えるべきです。

ご主人の保険については、生命保険の死亡保障 1,500 万円と、住宅ローンに付随した団体信用生命保険の死亡保障 2,500 万円を合わせると約 4,000 万円もありますが、子供が小さいので現状維持をお勧めします。不要な特約を外せば安くなるはずですので保険会社へ問い合わせしてみてください。このような工夫を積み重ねた上で、教育費を学資保険、財形貯蓄、自動積立、年金保険、終身保険など様々な貯蓄商品で積み立てていけば良いのです※2。

※1: 2017 年家計調査第 8 表 (住宅ローン返済世帯)

※2: iDeCo は、60 歳以降の払い出しになります。

【アドバイス】まずは収入 1 割アップより、支出 1 割カットが確実

- (1) 使途不明金の確認・管理
- (2) まず食費、光熱費、ご主人の小遣いの見直し (ご主人すみません!)
- (3) ガソリン代の見直し
- (4) 生命保険の見直しは家計の支出を見直した後で

カナさんの家族構成/米子市在住

カナさん (36) パート勤務・夫 (38) 会社員・子供長女 (5 歳)、長男 (2 歳)